

四谷の

# 千枚田だより



第196号



## 農水省 デイスカバー農山漁村(むら)の宝

農林水産省主催の第6回「デイスカバー農山漁村(むら)の宝」応募総数九百三十一件の中から三十一地区(コミュニティ部門十六地区、ビジネス部門十五地区)および個人五名が選定された。



鞍掛山麓千枚田保存会は棚田での米作りだけでなく「四谷の千枚田」を地域の宝と位置付け(中核)、連谷地域住民ともども住環境整備や各種活動、他の団体を交えた地域振興イベントなどの展開が評価され、



「コミュニティ部門」に選定された。選定受賞式は十二月三日、首相官邸で行われ小山舜二と松下誠が出席した。特に嬉しかったのは交流会において昨年、棚田PTの座長であった江藤 拓 農林水産大臣と「その節は：」棚田地域振興法案作りに電話対応したり、また、アンケート調査では中山間直接支払制度の「しぼり」があまりにもきつく、緩和をお願いもした。今回成立した「棚田地域振興法」においてそのしぼりがかなり緩くなった。等々のお話しの最中、菅官房長官も席に訪れ、今回の「棚田地域振興法」は江藤大臣の棚田への愛着と熱意で成立した。また、農水に限らず他省庁とも力を合わせた支援の方向である。安倍首相と記念撮影のおり、ポスターを見な



がら「私の故郷、山口県にも棚田がある。条件は厳しいが、圧巻だ、この棚田(四谷の千枚田)も大変だろうね」と優しくお声をかけられ、パンフレットをお持ちいただいた。  
**東海農政局 デイスカバー農山漁村(むら)の宝選定**

十二月十二日、千枚田を一望する身平橋集會場で農政局橋本政樹次長さんから選定証を授与。授与式には局をはじめ愛知県農地計画課、新城設楽農林水産事務所、新城市役所のトップクラスの皆さんが列席、出席した保存会にお祝いの拍手を戴いた。



## 収穫感謝祭

十二月八日、保存会は地域の方々、棚田っ娘、ふるさと指導員の協力を得て、みんなで感動！さあ、つかまい！感謝を込めて、餅つきを！を開催した。

当日は師走にも係わらず好天に恵まれ、地元をはじめ、都市近郊からも大勢が駆け寄ってきた。

そりあぁ、そうだぞん.. 搗き立ての餅(あんこ・黄粉・大根おろし)や名物鳥長のかわ肝の焼肉や千枚田のコメをたらふく食ったイノシシのしし汁、シカ肉など協力金箱にお気持ちを入れるだけで食べ放題だし、棚田っ娘自慢の五平餅も完売。また、



イベントに毎年参加いただいている「河西忍の愉快的仲間たち」の



奏でる天空のコンサート、また、アラジンのような下派手な演舞には若い衆や、男衆の鼻の下が搗き立ての餅より長く伸びていたような気もしたし、伸びていたのは確かだ。追記 参加者の皆さんのご協力により雀の涙ほどの黒字になりました。

### ブラアイチ

ブラアイチは、愛知県内各地の歴史と地形を紐解き、「防災」「観光」「まちづくり」について、まち歩きを通して楽しく知ることを目的とした愛知県の取り組みです。

十二月十七日、奥三河再発見ツアーと題し、三十九名が参加、四谷の千枚田く設楽町田口地区(郡都田口



をブラ)く設楽ダム工事現場着々と進むダム工事現場を特別見学)道の駅もつくる新城のコースで行われた。

四谷の千枚田コースでは参加者の多くが四谷の千枚田は、度重なる山崩れにもめげずに、があまりにも浸透(噂話)していることに驚きを憶え、そうじゃあないよ...の説明に苦労した。

### 今後の予定

- ・一月二日、十一時から連谷公民館令和二年連谷地区新年交礼会及び第六回「デイスカパー農山漁村(むら)の宝」選定受賞報告会
- ・一月十一、十二日、名古屋国際会議場 未来につなぐ「国連生物多様性の十年」せいかりレーキックオフイベント あいち・なごや生物多様性 EXPO ブース出展・プレゼン
- ・一月中旬、鳳来寺小学校 学習田の田お越し&たんぼ飛び
- ・一月三十一日、中電ホール大会議室 農業振興技術連盟地方セミナー 講演「地域活性化に向けた取り組み」保存会 小山舜二

行 令和二年一月一日  
鞍掛山麓千枚田保存会  
発 文 責 小山舜二